とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0382
施設名	東福保育園
施設所在地	東京都福生市福生２０９
法人名	社会福祉法人　慈光会

１．活動のテーマ

＜テーマ＞

「色」

＜テーマの設定理由＞

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

生活や遊びの中で色は常にふれているものであり、日常の遊びの中の一場面を切り取っていった。そこから月齢や一人ひとりの成長に合わせてその時の子どもたちの興味や関心にあった遊びを楽しめるようにしていった。

２．活動スケジュール

①花摘み②花紙遊び③夏野菜を見て④かき氷づくり⑤色水遊び⑥花壇の花を見て⑦デカルコマニー技法であそぶ⑧落ち葉遊び⑨絵の具遊び⑩色鬼⑪色々バスケット

３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

日頃の遊びから子どものつぶやきや気づきを大切にし、そこから生まれた問いを活動に取り入れた。

複数の色を豊富に用意し、子どもが選べるようにした。

４．探究活動の実践

＜活動の内容＞

①花摘み②花紙遊び③夏野菜を見て④かき氷づくり⑤色水遊び⑥花壇の花を見て⑦デカルコマニー技法であそぶ⑧落ち葉遊び⑨絵の具遊び⑩色鬼⑪色々バスケット

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

初めの頃は知っている色で遊ぶ姿が多く見られたが、夏頃に自分で色を作れる経験を増やしたところ、更に色への興味が深まっていった。

色の組み合わせや色の濃淡を見比べるなど遊びの中での子どもの気づきは多く、普段の遊びからも色で楽しむ姿が見られるようになった。

５．振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

子どもと色、と考えるとどうしてもこちらが設定した環境になりがちだが、遊びを経験していくことで子ども自らの気づきから次への遊びが生まれていることや、子どもの問いに私自身が気づけるようになってきたことが大きな経験になった。

また、子どもたちの生活には常に色があふれているので、今後も私たちが子どもの目線になって気づくことを大切にしていきたい。